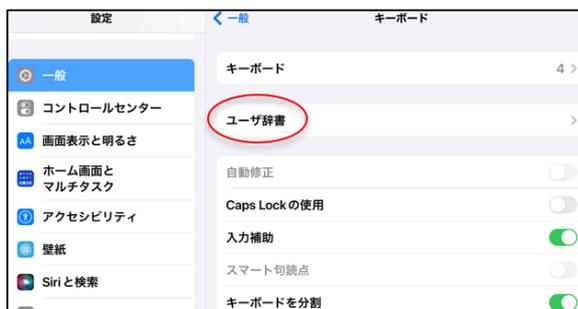


## 1人1台端末の活用による、日常生活の質を向上させる実践事例

学校名	誕生寺支援学校	指導者名	黒田 大輔
実践場面 (教科名)	課題別学習 (国語・数学)	単元・題材名	数字を入力して、 動画を検索する
学習目標・ ねらい	・自分でタブレット端末を操作して、見たい動画を検索することができる。		
対象児童生徒の 実態	知的障害部門 中学部3年 ・タブレット端末を使って余暇を過ごすことを好むが、自分で操作することができない。 ・平仮名や片仮名等の文字を読むことが難しい。 ・1～5までの数字が読める。 ・平仮名や片仮名等の文字は読めないがアニメのキャラクター等、興味のあるものは区別・判断することができる。		

### 活用の概要

- 事前に、タブレット端末の設定アプリを開き「一般」→「ユーザ辞書」→「+」の手順で、生徒が一人でも容易に「検索」を活用できる環境を設定する。
- ・「単語」には、生徒が好むキャラクターの名前を設定し「よみ」には、生徒が入力可能な文字を設定する。



- タブレット端末の Chrome アプリを使用し、予測変換機能を活用して動画検索をする。
- ・検索欄に「1」と入力し、予測変換欄に表示された「Youtube」を選択する。
- ・Youtube の検索欄に「2」～「5」の数字のうち一つを入力することで、該当するキャラクターの名前が予測変換欄に表示される。該当するキャラクターの名前を選択することで、関連する動画が表示され、その中から見たい動画を選択できるようにする。
- ・動画の視聴時間は一つにつき3分までとし、タイムタイマーが鳴ったら同じ手順で動画検索を行う。
- ・以上の手続きを4回繰り返すことで、動画検索の手順を理解することができるようにする。



成果や活用の ポイント ・ 課題、改善点 等	<p><b>【成果】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・約1か月の期間、週3～4日程度の実践を行った。課題別学習の時間に加えて、余暇の時間に生徒が希望した際にも行った。</li> <li>・数字の打ち間違いはあるが、見たい動画を自分で検索できるようになった。</li> </ul> <p><b>【活用のポイント】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・数字とキャラクターの名前の組み合わせ表を手元に置き、見たい動画（数字）を視覚的に選ぶことができるようにする。</li> </ul> <p><b>【課題】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・選択の幅を広げられるように、判断できるものを増やしたい。</li> </ul>
------------------------------------	--